



□家庭や地域で子どもたちができそうなことから声かけをお願いします。

- 命を大切にすることを教えてください。  
・交通ルール ・自転車の乗り方
- ・外出時の約束
- お手伝いすることを決めてください。  
・玄関のくつの整理整頓 など
- 相手を意識して挨拶ができるように教えてください。
- 時間を守り大切にできるように教えてください。
- 並んで待つことができるように教えてください。
- 言葉を大切に使うことを教えてください。  
・ちくちく言葉が減り、ほんわか言葉が増えるように教えてください。
- 名札をつけるように声かけをしてください。
- 外遊びが大好きに育ててください。
- 早寝早起き朝ご飯の習慣定着を大切にしてください。
- 家庭学習習慣が身につくように、指導をお願いします。
- たくさん声をかけてほめてください。

学校教育目標

優しさを持ち、たくましく生きる子どもを育成する

学校スローガン

一人一人のよさを認め合い笑顔いっぱい清水小（自分が好き・友達が好き・学校が好き）



—清水プラン（6つの重点）—

- 1 子ども自らが考え、動く授業づくりで学力向上に努める
- 2 責任感や思いやり、奉仕の心をはぐくむための教育活動を行う
- 3 体力向上の取組を通して、体力向上を図る
- 4 特別支援教育の視点からの学級づくりを行い、居心地のよい教育環境づくりを行う
- 5 読書活動を推進し、読書好きな子どもを育てる
- 6 チャレンジカードで目標をもたせ、自信と笑顔いっぱいの子を育てる

子どもの行動目標

- ・掃除を時間いっぱい無言で行う（木曜日はもくもく掃除）
- ・司会力、話し合う力、質問力をつける
- ・本で調べたり、本を読んだりする
- ・誰にでもあいさつができる
- ・「ほんわか言葉」がいつも使える



こんな学校づくりに努めます  
◇自尊心を高めることができる温かい学校

- ① 特別支援教育が充実している学校
- ② 規律ある学校
- ③ 「特色ある学年・学級1取組」を通して自尊心と学級への帰属意識を高めることができる学校

◇子ども一人一人のよさや可能性が発揮できる教育活動を進める学校

- ④ いきいき学べる学校
- ⑤ わくわくする体験のある学校
- ⑥ 安全で美しい学校

◇児童・保護者・地域の願いに応える信頼される学校

- ⑦ 外部発信で開かれ・信頼される学校
- ⑧ 共に育てる応援団がたくさんいる学校
- ⑨ 小中連携で学習面、生活面を同じ方向で指導できる学校

◇教職員が共に学び合い、協働して活動するやりがいのある学校

- ⑩ 児童の愛情を深く育み、児童の可能性を信じ、認め、主体的な児童を育てる学校
  - ⑪ 危機意識を高く持ち児童の命を守る学校
- ※11月14日(金)授業自主全市公開日です

【プラン1】子ども自らが考え、動く授業づくりで学力向上

- 子どもが主体的に学ぶ授業づくりを行う。  
・子ども自身が学習の進め方を認識できる授業。
- ・話し合いにおいても、ペアトーク、グループトーク、クラスワークなど、子どもが司会をし、話し合いを通して一人一人の考えを深めていくことができるような授業。
- ・自分の考えと友達の考えを比べ、共通点や相違点を考えたり、自分の考えを広げたり深めたりするために、一人一人の対話力・司会力が身に付く授業。
- 基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得を目指して、家庭学習の充実を行う。  
・家庭学習時間の目安を示す。（学年×10分程度）
- ・家庭学習チャレンジハンドブックを活用し、家庭で自主学習ができるように指導。
- ・家庭学習約束宣言シートなどで、振り返りを行う。
- 朝の活動を全校一斉に効果的に行う。  
月：対人スキルアップ（いいことさがしなど）など  
火・木：学力アップタイム（学年で内容を検討した繰り返し学習）  
水・金：読み聞かせがない日の読書タイムの活動内容の検討
- 算数科（1年生～6年生）で少人数指導、理科（3年生～6年生）で専科指導を行う。
- 学校図書館を効果的に活用し、授業を行う。
- 読書ノートなどを活用し、本好きな子どもを育てる。
- 家庭での学習習慣形成のために、学年×10分程度の内容と家庭学習時間の定着を推進する。

【プラン2】責任感や思いやり、奉仕の心をはぐくむための教育活動を行う

- わくわくする体験を通して優しい心や社会性を育てる
- 挨拶ができる、広げるを目的に、あいさつ運動リーダーによる活動を行う。
- 地域清掃を小中連携教育の一環として行う。
- 特別活動の学校行事、児童会活動で創意工夫し、高学年が活躍できわくわくする活動を行う。
- 2月に行う感謝の会で一年間お世話になった人に感謝の気持ちが伝えられる集会を行う。
- 総合的な学習の時間や生活科の学習で交流や指導していたく時は感謝の心がもてるようにする。
- 「学年1取組」「1学級1取組」を通して自尊心と学級への帰属意識を高める。
- 小中一貫・連携教育の推進として、共通した学習習慣の育成を行う。

【プラン3】体力向上の取組を通して、体力向上を図る

- 新体力テストの結果をもとに、体育科等の学習の中で一人一人に合ったためあてを立て体力向上を取組ませる。
- 縄跳びや持久走などを計画的に行い体力づくりに挑戦させる。
- 外遊びの奨励を行う。

(4) 特別支援教育の視点からの授業・学級づくりを行い、居心地のよい教育環境づくりを進める

- ◇児童・保護者の教育ニーズを大切にし、生徒指導・特別支援教育の視点から授業・学年・学級づくりを行う。
- 子ども一人一人が居場所を感じる日常の係・委員会活動等を工夫する。
- 教育相談活動を更に充実させる。  
・6・10・2月の教育相談月間を設ける。  
・「心の何でも相談（いじめ）アンケート」を6・10・2月に実施する。また、全児童の面接を行う。
- 保護者の希望で特別支援コーディネーターが教育相談を行う。（原、有吉・松永）
- 対人スキルアップを有効に活用し、自尊心を高める指導の充実を行う。

【プラン5】読書活動を推進し、読書好きな子どもを育てる

- 朝の読書タイムの深化、拡充を行う。
- 学校図書館を授業で、効果的に活用する。
- ブックフォークの実施、読書ノートの活用などで本好きな子どもを育てる。



【プラン6】チャレンジカードで目標をもたせ、自信と笑顔いっぱいの子を育てる

- 毎月チャレンジカードで、目標を持った学校生活を送らせる。
- チャレンジカードに挑戦させ、自分のよさと友達のいいところ見つけも行う。
- 振り返りを大切にし、担任や保護者からのメッセージを添えほめて育てる。